



今年も無事に「大層」をあげて
年末始、古里祖谷に帰えらうれを
皆さんを迎えることができました
もう一回を越えよう、わが家数人ご
年末の一日、ああだ、こうだと
ながら、画を考え、えい！ヤッ
と、気がきき仕上げこいませよ
大変ですが、お楽しみとあります
以外と、みな様にふるものです
ひんか、自分の人生に似ています
今年も、以外にすんぽりと作業は進
みました。スッキリと仕上げ、評判も
上々とか。
いつもの様に、作業所「愛生」のメンバー
に手伝って、とらいつ無事、二十日
最後の仕事が終わったのが二十日

くやしうは

植民地なんぞはうか

この所、沖縄に
ついて、多くの事
を考えさせるニュースが目にとまり
ました。
沖縄といえは基地、米軍機、という
ことがおもしろい出します。
そこで、政府のゴリ押しがまかり通
つてくるのが強い、辺野古問題
そんな中、次の言葉を、心が
りてみました。
「沖縄は日本の一つの県です。
で、それが認められたいはいない。
悲しいです。」
くやしうは、植民地なんぞは
うか、植民地の意見なんかが聞か
なくていいという、なんぞしよう
か。
また、「日本人はなぜ怒らな
いのか」
行動なき良心は、悪の側に
なるといふ。
本当に、日本の社会、あるいは政
治家、企業家、この国は、本
に民主的の国といえるのかとす
おもいます。
都合の良い時だけ、国民を語
つたりと、本当にどうなるのか
どううか、民主的の方法で、政
権をとつて、やめる事は、専制とか
いらない、これを止められない

いつかよにこれほど
きんちをおしつけ
ふんぞりがえるせかい例なし

この所、あがなふりですかねえ
年々には、蘇をめぐって国際から扱
たというニュース。
喜んでいいのでしょうか。
日本は、何んか責任をどうなるか
社会になつてしまつて、どうで、こ
外国からは信用されない国になつて
まいかねないともおもいます。
どうすれば、いいんでしょうか。

のどろり
リスダダエ



十二月のある日の事、何か小さい鳴き声
が聞こえてくる、心かきうとゆくり
動きながら道路を歩いていると、何
かが飛び出してきた。
リスだ、と注目していると、茅の中
から飛び出し、飛び込むをくり返し、
匹のリスが遊んでる。
時には、ひつとと、私の足へも走
り来る。
撃ちそう。小さい鳴き声を出しなが
ら走りまわってる。子供らが鬼ご
つてを
しってる様子が
しばらく、撃ちまけてしまいました。
なんどか、怒りを、様に、気分がよ
い時を、感じた家の近くの日です。